

下馬地区防災計画

[令和7年修正]



「しものざワン」

下馬地区防災計画作成団体

(順不同)

下馬1丁目町会	世田谷消防団第12分団
駒繫西自治会	世田谷消防団第14分団
下馬2丁目北町会	第6ブロック高齢者クラブ
下馬新生自治会	駒繫小学校
下馬5丁目町会	旭小学校
下馬6丁目町会	中丸小学校
野沢1丁目明朗会	駒留中学校
野沢2丁目町会	三宿中学校
野沢3丁目町会	世田谷地域社会福祉協議会事務所
野沢四丁目自治会	下馬あんしんすこやかセンター
身近なまちづくり推進協議会 (生活環境防災部会)	日本大学危機管理学部
日本赤十字奉仕団下馬東分団	東急ランセ下馬営業所
日本赤十字奉仕団下馬西分団	世田谷消防署
下馬地区社会福祉協議会	世田谷警察署
野沢地区社会福祉協議会	下馬地区民生委員・児童委員協議会
世田谷ボランティア協会	青少年下馬・野沢地区委員会
東京学芸大学附属高等学校	

目 次

1 はじめに	下馬-1(-164-)
2 下馬地区の特性	下馬-2(-165-)
(1)自然特性	下馬-2(-165-)
(2)社会特性	下馬-3(-166-)
(3)地域危険度	下馬-5(-168-)
(4)被害想定	下馬-6(-169-)
(5)防災資源一覧	下馬-9(-172-)
(6)防災資源マップ	下馬-10(-173-)
(7)区民アンケート	下馬-11(-174-)
3 各団体の防災活動～現在の取組状況～	下馬-20(-183-)
4 下馬地区の課題と今後の取り組み	下馬-28(-191-)
(1)現状・課題・背景など	下馬-28(-191-)
(2)これまでの主な取り組みや成果	下馬-28(-191-)
(3)今後の取り組み	下馬-29(-192-)

1 はじめに

東日本大震災では、地震や津波によって自治体の行政機能が麻痺し、住民による自助、地域コミュニティにおける共助が重要な役割を果たした。国はこうした教訓を踏まえ、平成25年に災害対策基本法を改正し、地区居住者等による自発的な防災活動を促すため「地区防災計画制度」を創設した。

これを受け、世田谷区では、各まちづくりセンターの管轄区域ごとに地区防災計画を作成することとした。下馬地区では、平成26年度より防災塾を開催し、地区の特性や被害想定を分析したうえで避難所ごとに検討した結果を4つのテーマに分け意見集約し、平成29年に「下馬地区防災計画」を策定し、令和3年に修正を行った。

本計画は、令和3年修正から、この間の防災塾で検討を重ねた結果等を反映し、令和7年修正版として改めて地区団体等による防災活動に関する取り組みをまとめたものである。

今後は、本計画を地区住民で共有するとともに、下馬地区防災計画に基づいた地域活動を更に推進していくことが重要である。

2. 下馬地区の特性

令和6年度 世田谷区危機管理部災害対策課

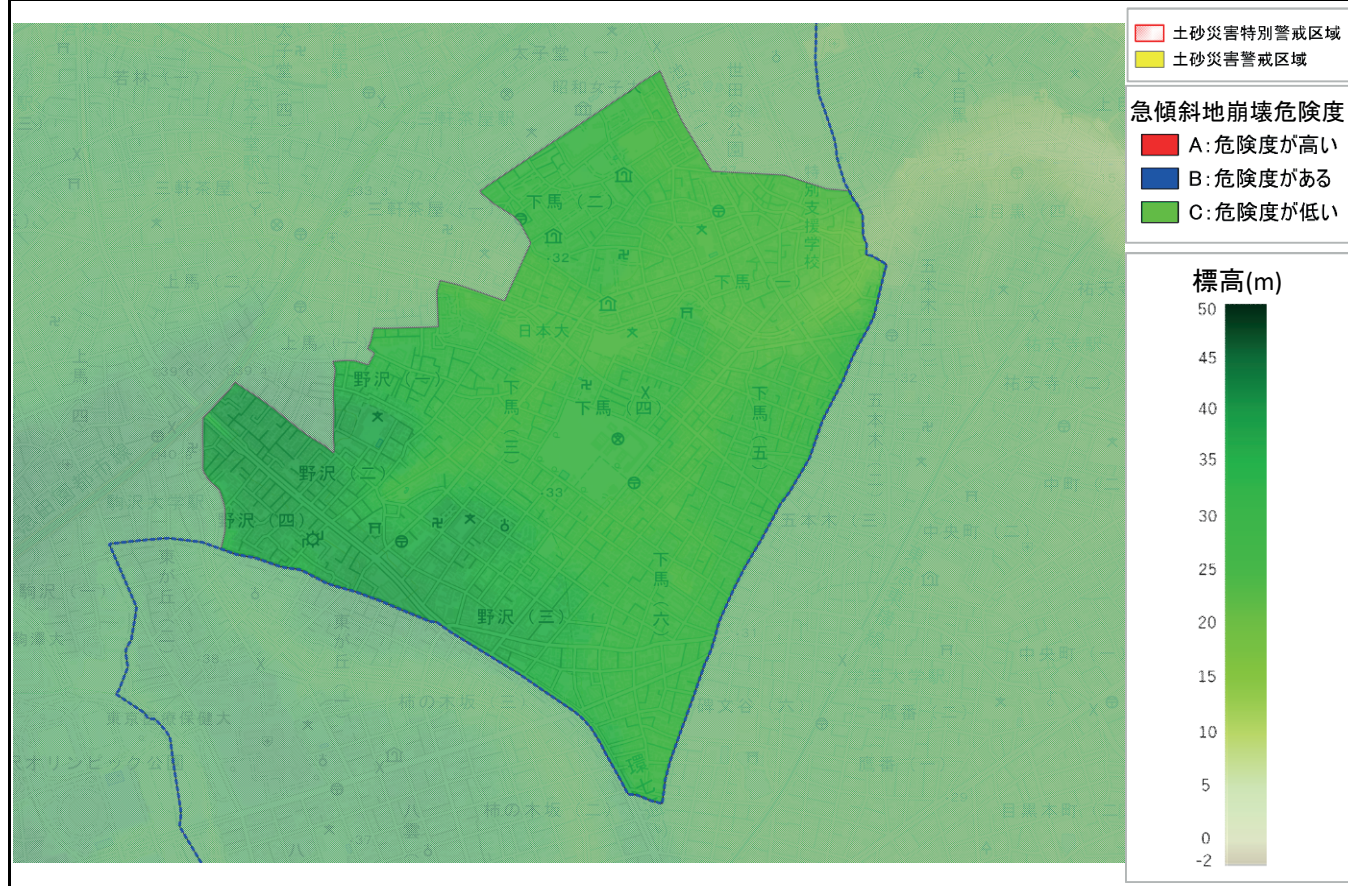
(1)自然特性

面積	2.08 Km ²	最高標高	41.5 m	最低標高	20.8 m
----	----------------------	------	--------	------	--------

位置



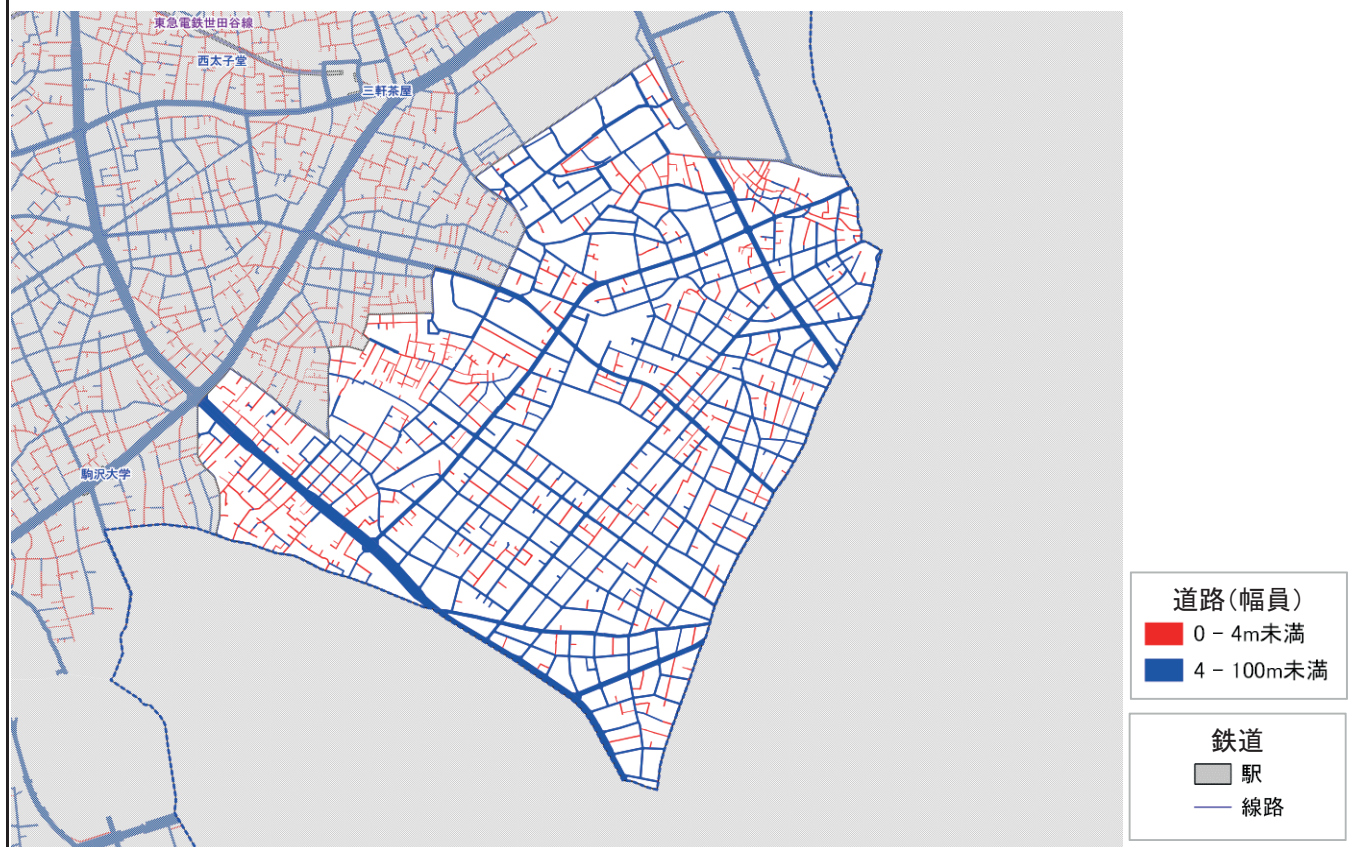
標高・急傾斜地崩壊危険度・土砂災害警戒区域等



(2)社会特性

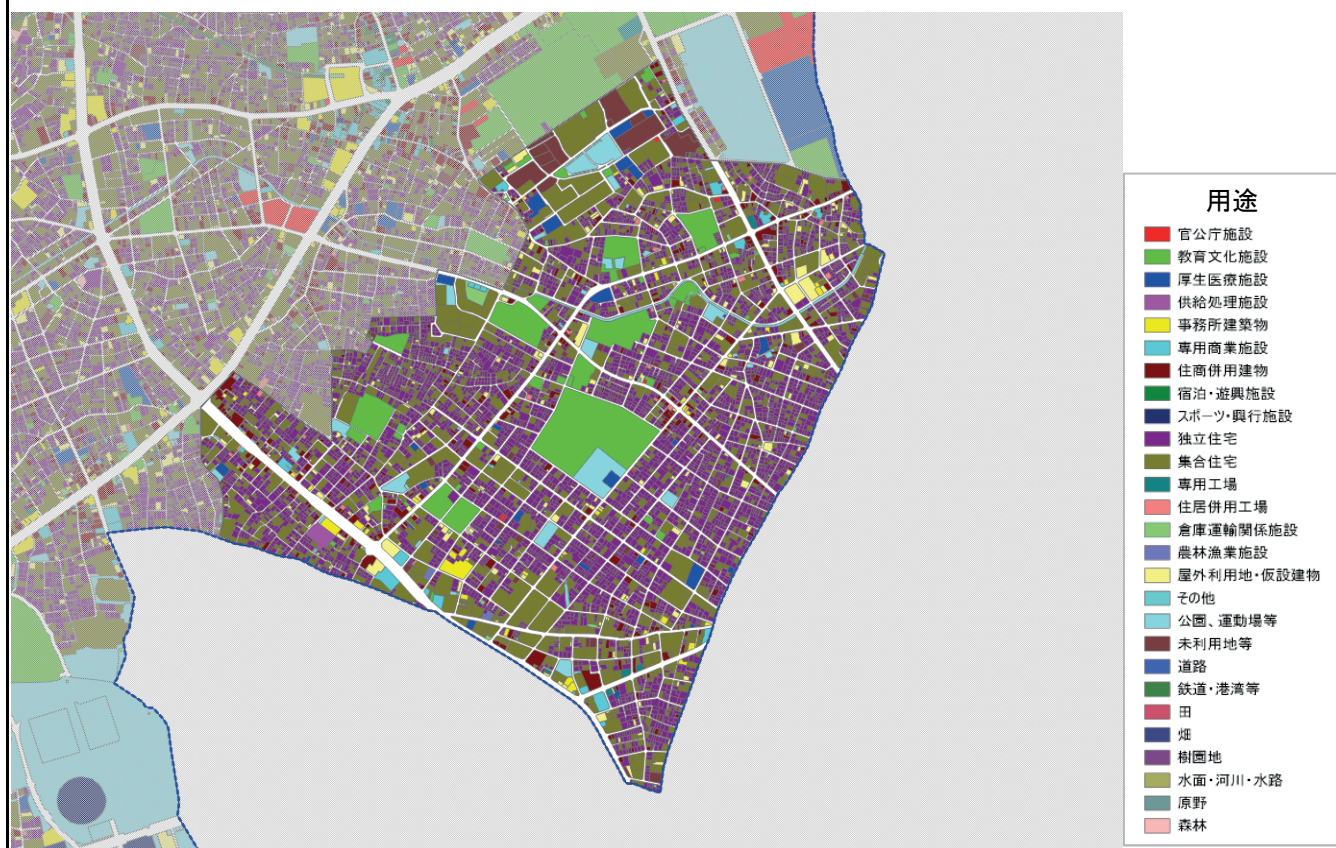
人口	42,869	人	細街路率	29.9	%
世帯数	23,688	世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	64.5	棟/Km ²
1世帯あたり	1.81	人	耐火率(建築面積ベース)	66.5	%
若年層数(15才未満)	4,810	人	土地利用(宅地)	72.8	%
若年層率(15才未満)	11.2	%	土地利用(宅地以外)	27.2	%
高齢者数(65才以上)	9,052	人	鉄道駅		
高齢者率(65才以上)	21.1	%			
昼間の人口	32,083	人	産業	商業	88.7 %
夜間の人口	44,071	人		工業	9.9 %
昼夜間人口比	0.73	-		農業	1.4 %
町会・自治会数	10	-			

道路・公共交通機関



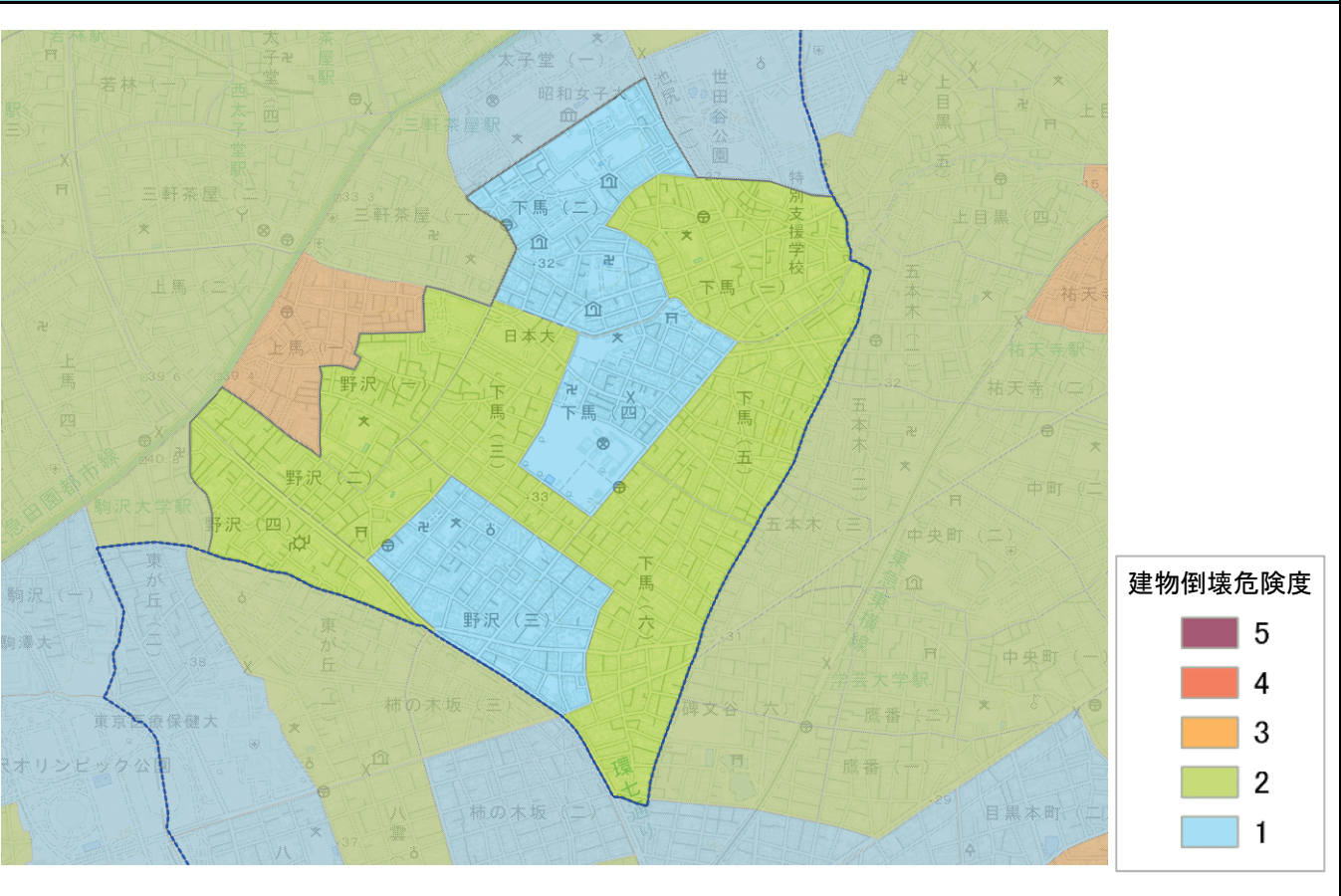
(2)社会特性

産業

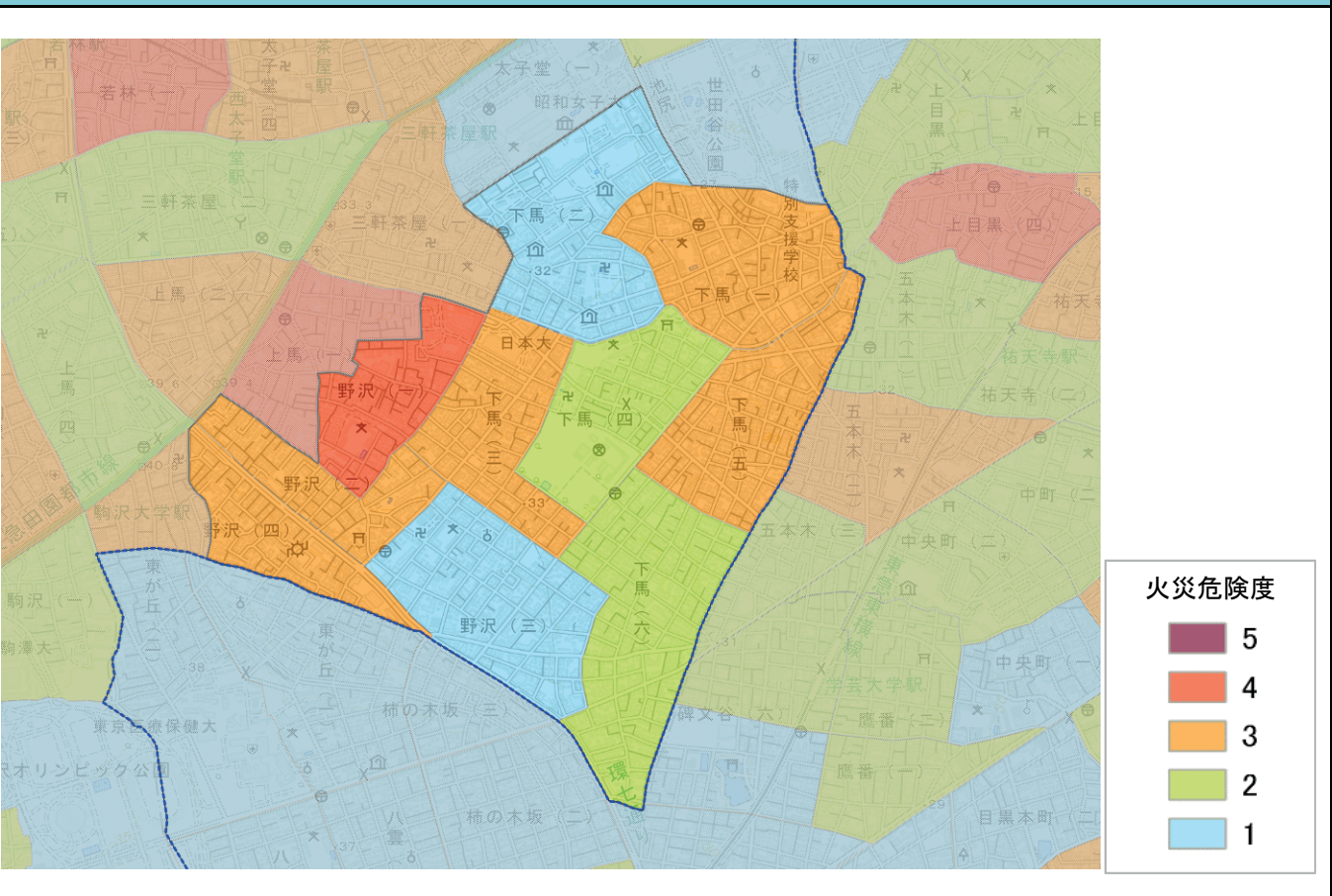


(3) 地域危険度

建物倒壊危険度



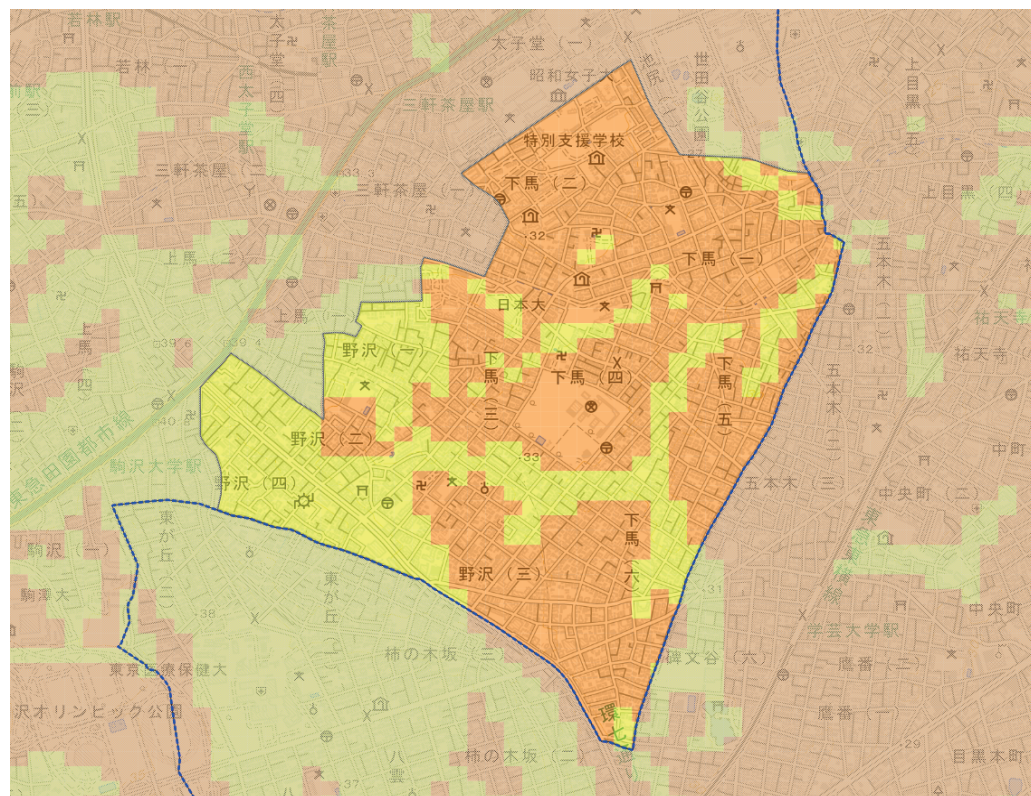
火災危険度



(4)被害想定

全壊棟数	300 棟	死者	26 人
半壊棟数	822 棟	負傷者	284 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	583 棟	うち重傷者	48 人

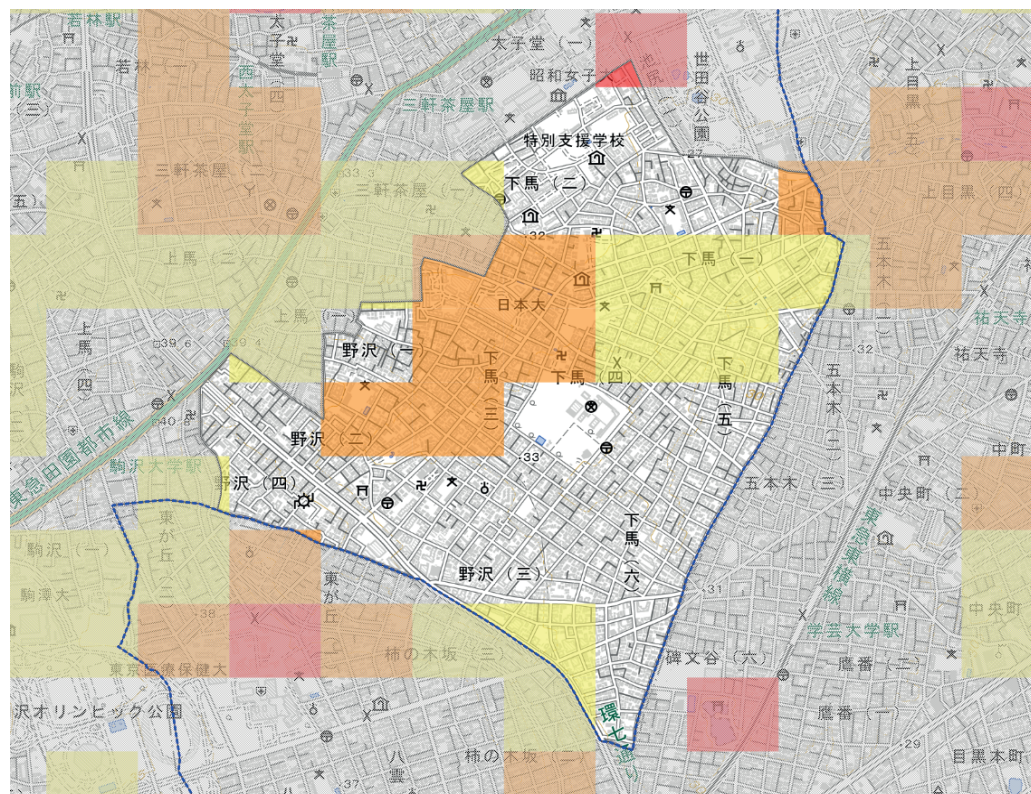
震度分布



震度

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3以下

液状化分布

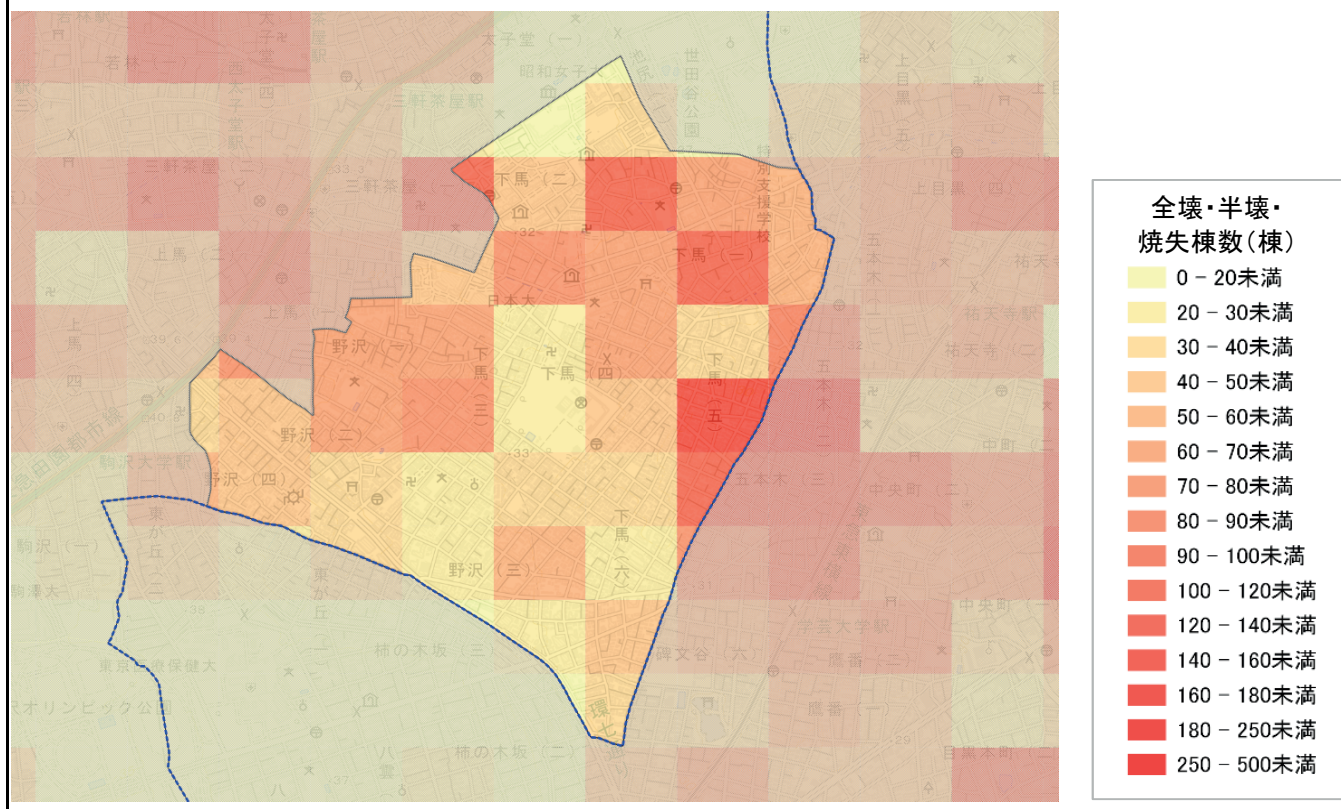


液状化危険度

- $15 < PL$
- $5 < PL \leq 15$
- $0 < PL \leq 5$
- $PL = 0$

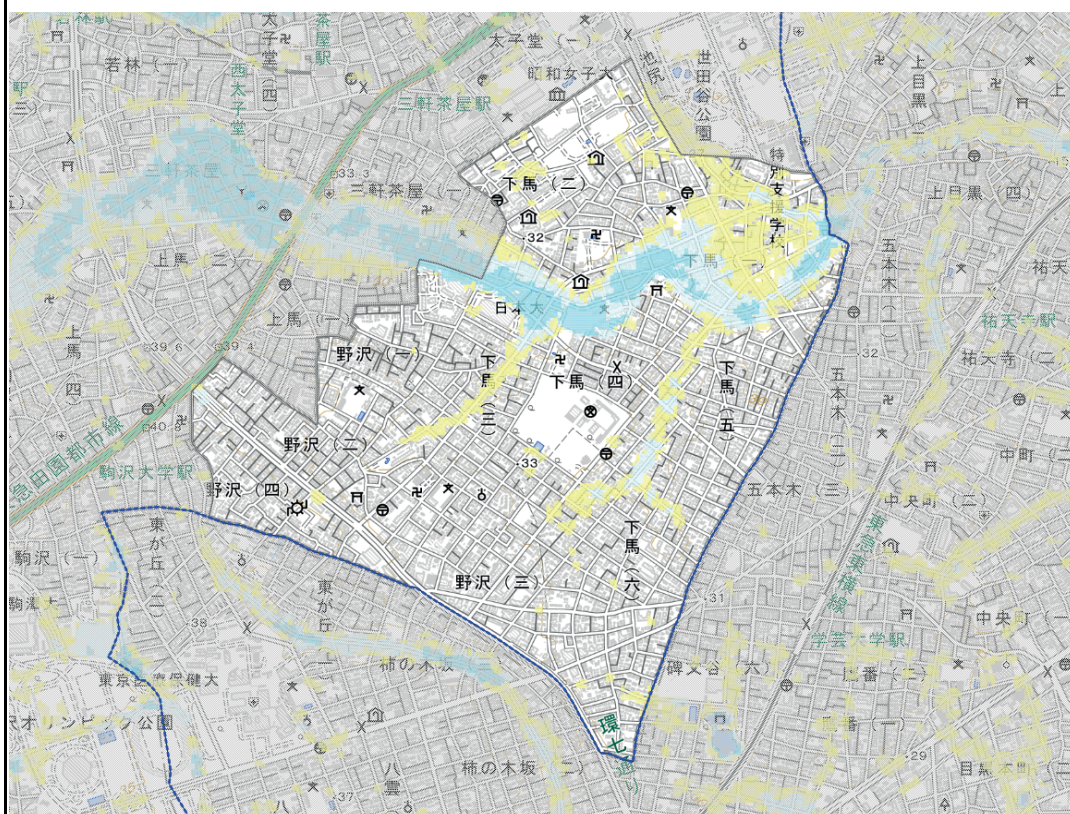
(4)被害想定

被害棟数分布

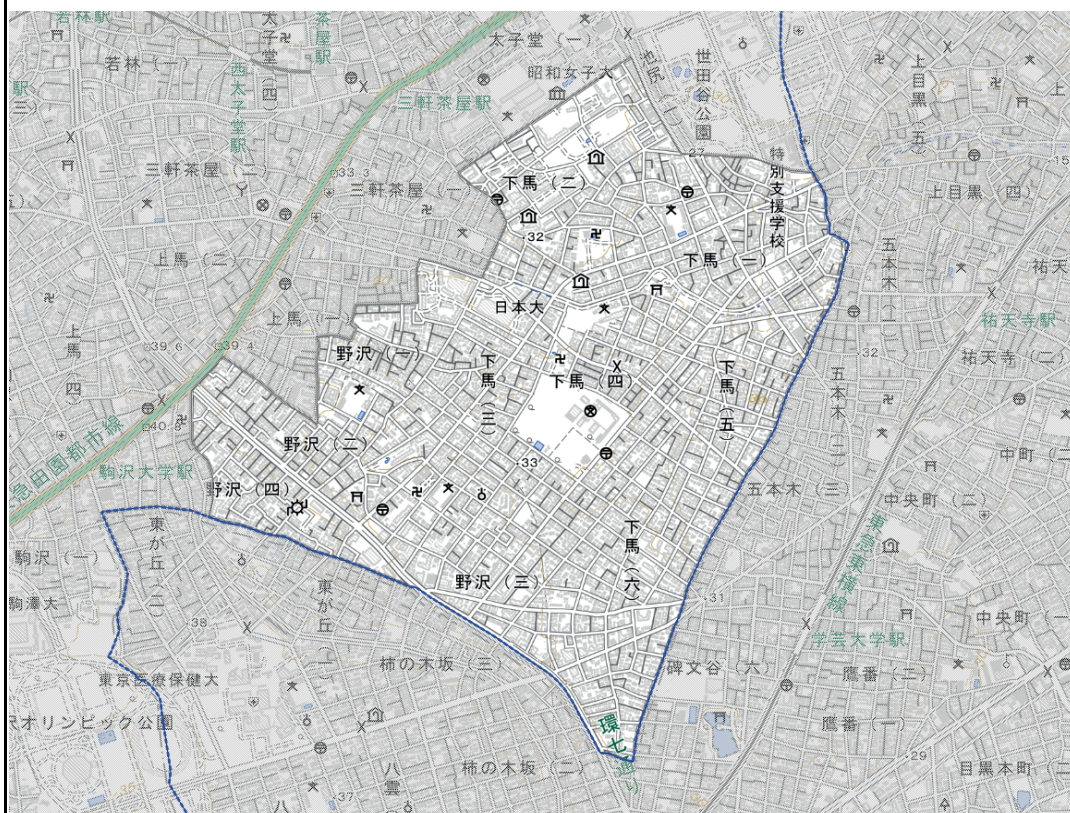


(4)被害想定

浸水想定(内水氾濫・中小河川洪水版)



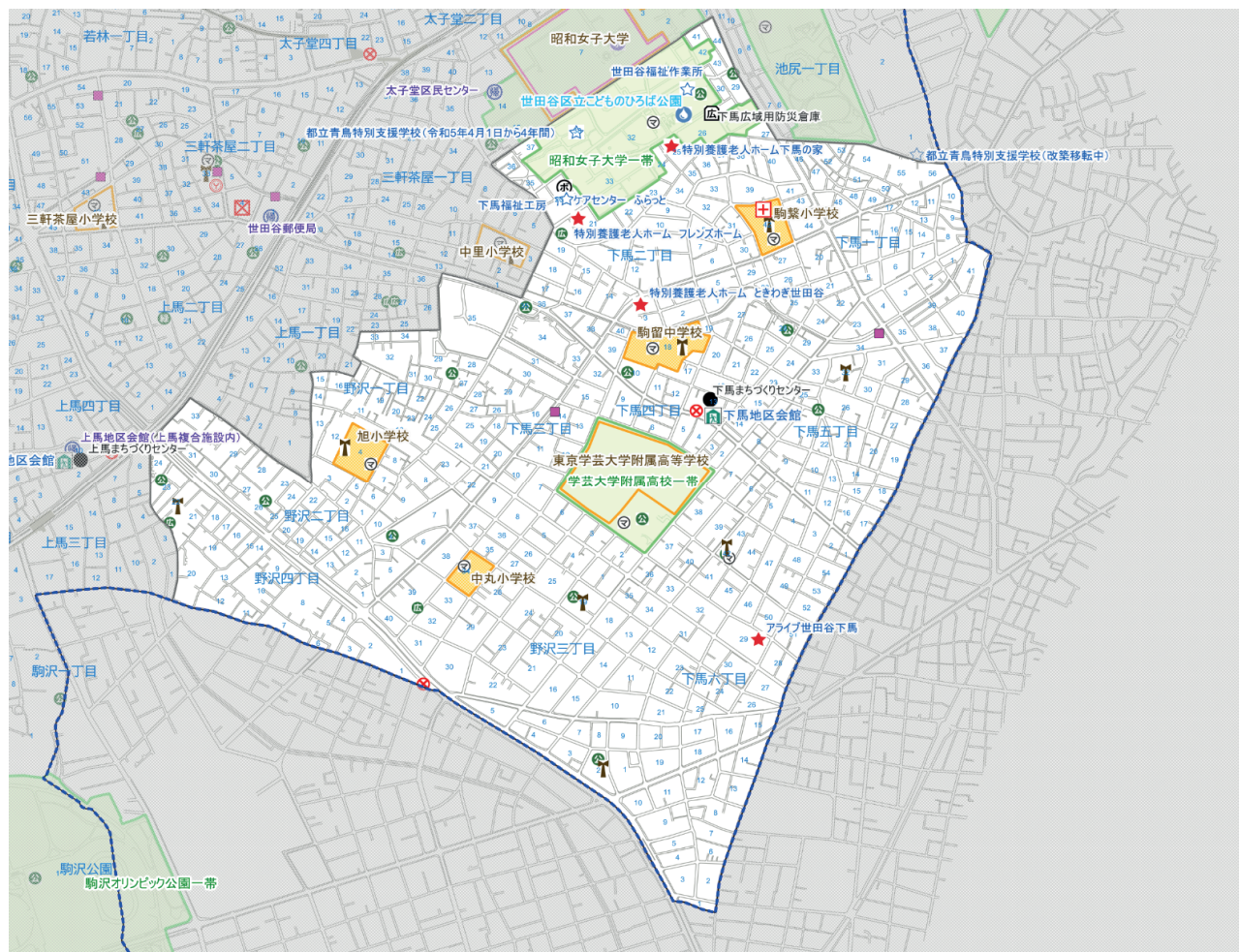
浸水想定(多摩川洪水版)



(5)防災資源一覧

広域避難場所	学芸大学附属高校一帯 昭和女子大学一帯				
一時集合所	こどものひろば公園 旭小学校 下馬公園 下馬中央公園 関電工敷地 駒繫公園 駒繫小学校 子の神公園 世田谷公園 中丸小学校 中里小学校 鶴ヶ久保公園 南原公園 碑文谷公園 野沢2丁目公園 野沢公園 野沢児童遊園 野沢明朗公園 龍雲寺				
指定避難所	旭小学校 駒繫小学校 駒留中学校 中丸小学校				
予備避難所	東京学芸大学附属高等学校				
福祉避難所(母子)					
福祉避難所(高齢者)	特別養護老人ホームフレンズホーム アライブ世田谷下馬 特別養護老人ホーム下馬の家 特別養護老人ホームときわぎ世田谷				
福祉避難所(障害者)	下馬福祉工房 世田谷福祉作業所 ケアセンターふらっと 都立青鳥特別支援学校(令和5年4月1日から4年間の予定。以降は池尻1-1-4。)				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)	下馬地区会館				
土砂災害時避難所					
避難所救護所	駒繫小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設					
一時避難施設(車中避難)		帰宅困難者支援施設		0	ヶ所
ボランティアマッチングセンター					
マンホールトイレ	7	防災行政無線塔	8	緑地	0 ヶ所
輸送拠点					
給水拠点	世田谷区立こどものひろば公園				
広域用防災倉庫	下馬広域用防災倉庫				
土のうステーション	蛇崩川緑道(下馬5の34付近)世田谷観音入口交差点付近歩道植栽帯				
警察署・交番	下馬四丁目交番 野沢地域安全センター				
消防署・出張所					

(6)防災資源マップ



- | | |
|--------------------|---|
| ◎ 総合支所 |  広域避難場所 |
| ● まちづくりセンター |  指定避難所 |
| ◎ せたがや災害ボランティアセンター |  予備避難所 |
| Ⓔ 広域用防災倉庫 |  福祉避難所(母子) |
| Ⓔ 給水拠点 | ★ 福祉避難所(高齢者) |
| Ⓔ 防災行政無線塔 | ☆ 福祉避難所(障害者) |
| Ⓔ マンホールトイレ |  水害時避難所(第1次) |
| ■ 土のうステーション |  水害時避難所(第2次) |
| ☒ 警察署 | ◆ 野川・仙川洪水時避難所 |
| ☒ 交番 | ■ 水害時避難所(狛江市) |
| ☒ 消防署 | ■ 水害時避難所(調布市) |
| ☒ 消防出張所 | ■ 土砂災害時避難所 |
| Ⓔ 身近な広場 |  避難所救護所 |
| Ⓔ 公園 |  東京都災害拠点病院 |
| Ⓔ 緑地 |  東京都災害拠点連携病院 |
| |  緊急医療救護所 |
| |  一時滞在施設 |
| |  帰宅困難者支援施設 |
| |  ボランティアマッチングセンター |
| |  輸送拠点等 |
| |  一時避難施設(車中避難) |

出典
世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和6年7月発行
世田谷区の町丁目別人口と世帯数 令和6年3月1日
世田谷区の年齢別人口 令和6年3月1日
世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ(多摩川洪水版、内水氾濫・中小河川洪水版)令和6年7月発行
世田谷の土地利用2021 世田谷区土地利用現況調査
世田谷区GISオープンデータ
令和2年国勢調査による 東京都の昼間人口(従業地・通学地による人口)第11表
地域危険度一覧表(地震に関する地域危険度測定調査[第9回]) 令和4年9月
首都直下地震等による東京の被害想定 報告書 令和4年5月25日
世田谷区防災マップデータ 令和6年3月

(7)区民アンケート(下馬地区)

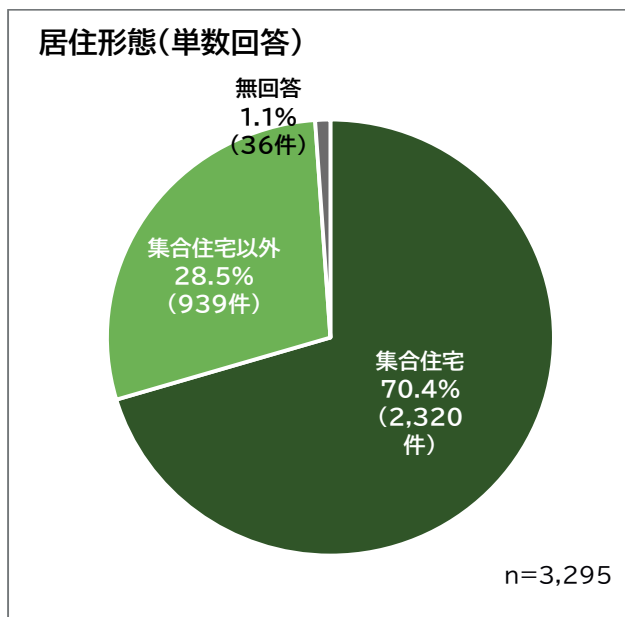
このアンケートは、今後の区内各地域及び地区における災害関連施策の検討や取組みに活用することを目的として、令和6年度に災害対策課が実施した「在宅避難支援事業(防災カタログギフト)」に合わせて行ったものである。

なお、以下に記載している回答集計結果は、カタログギフト申込者のうち、WEBで申し込みをした区民へ任意での回答を依頼し、令和6年8月9日から9月8日までに回収できた分である。

単純集計(1/5)

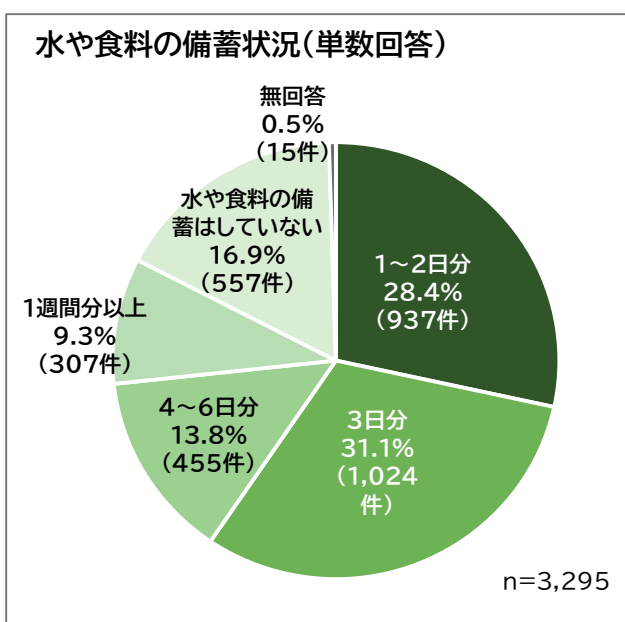
居住形態

【1】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



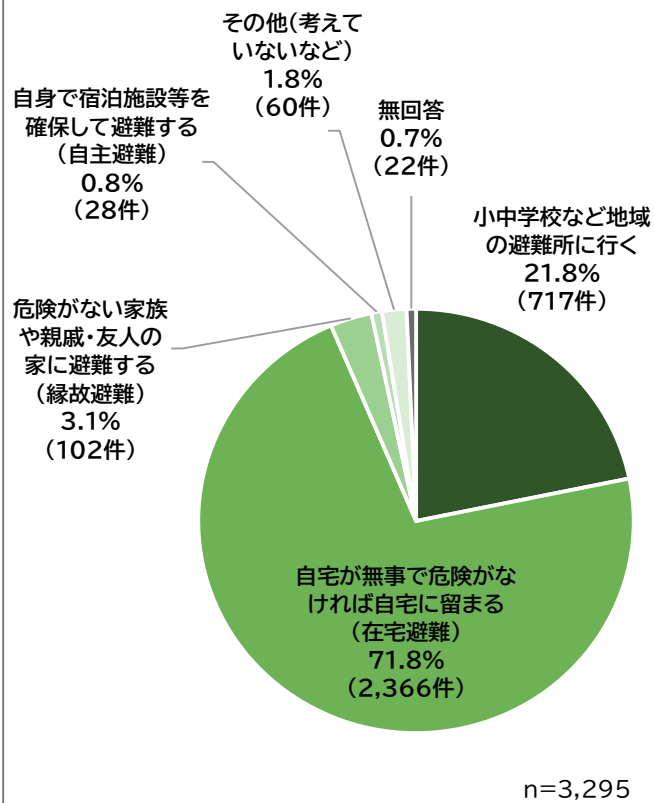
(7)区民アンケート(下馬地区)

単純集計(2/5)

震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



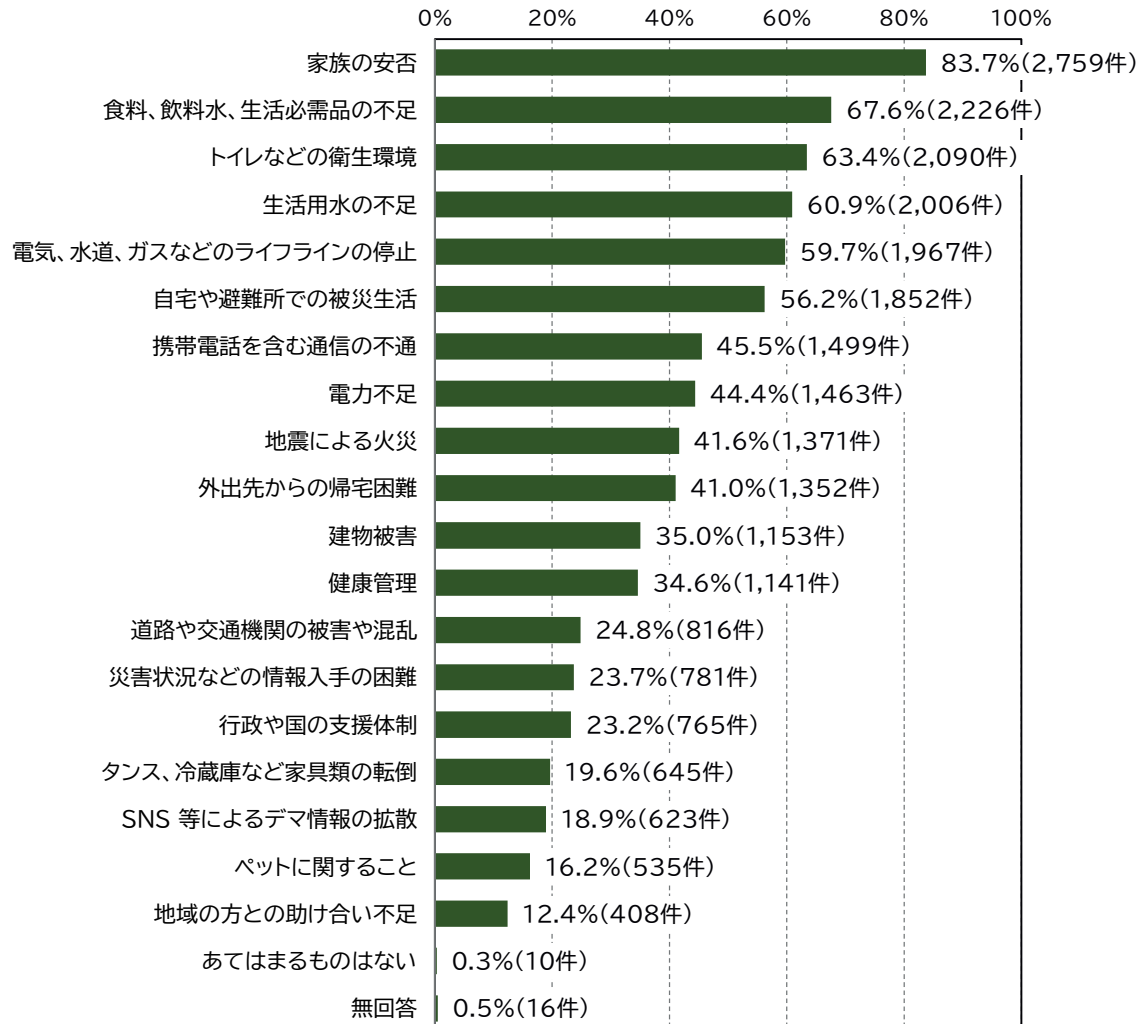
(7)区民アンケート(下馬地区)

単純集計(3/5)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

災害時の心配ごと(複数回答)



n=3,295

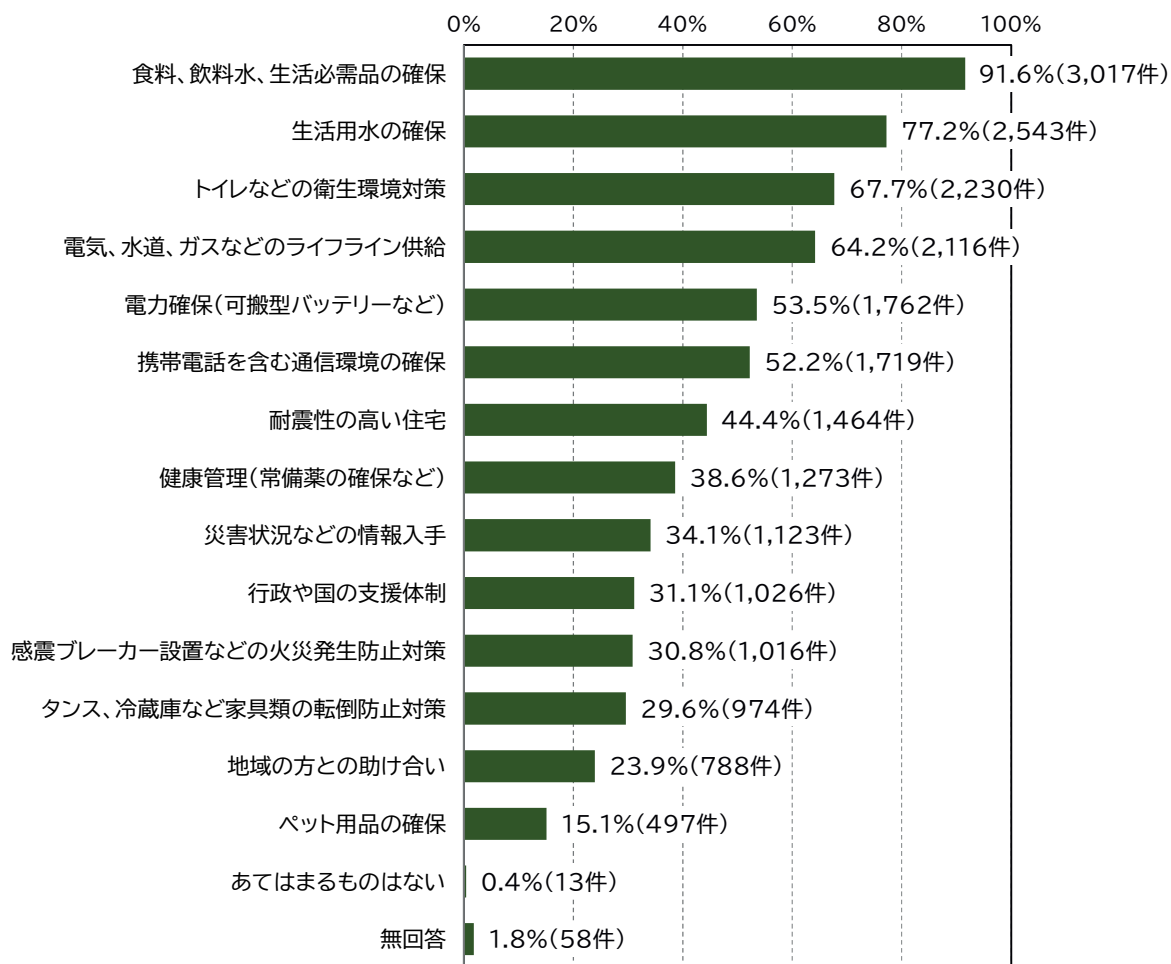
(7)区民アンケート(下馬地区)

単純集計(4/5)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



n=3,295

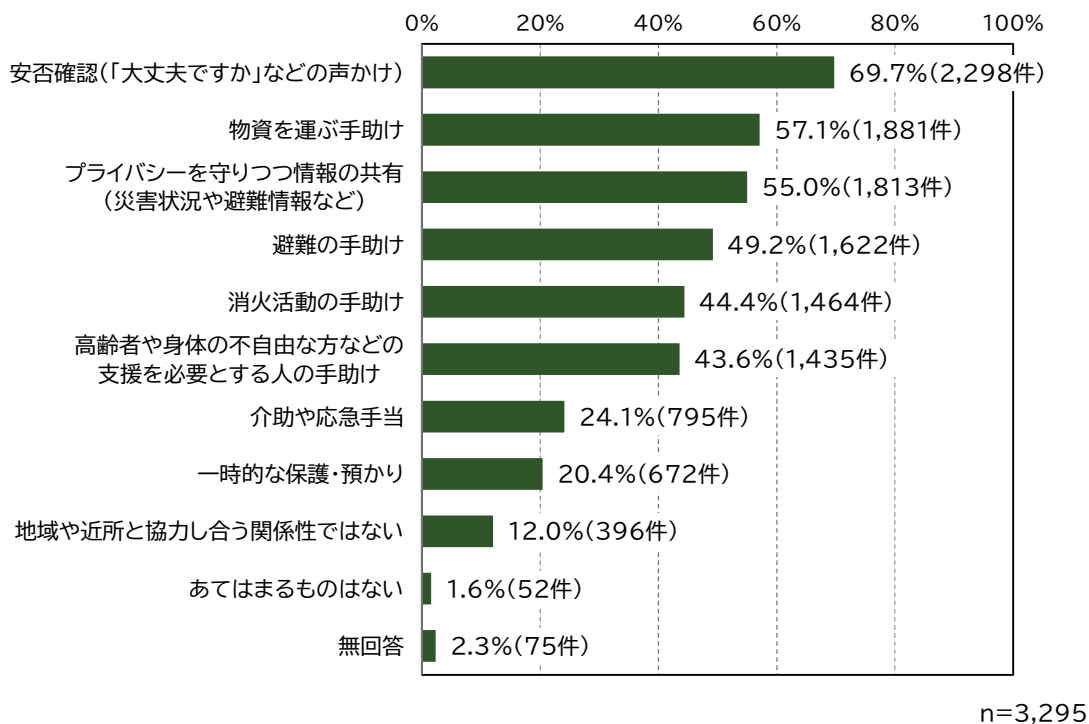
(7)区民アンケート(下馬地区)

単純集計(5/5)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

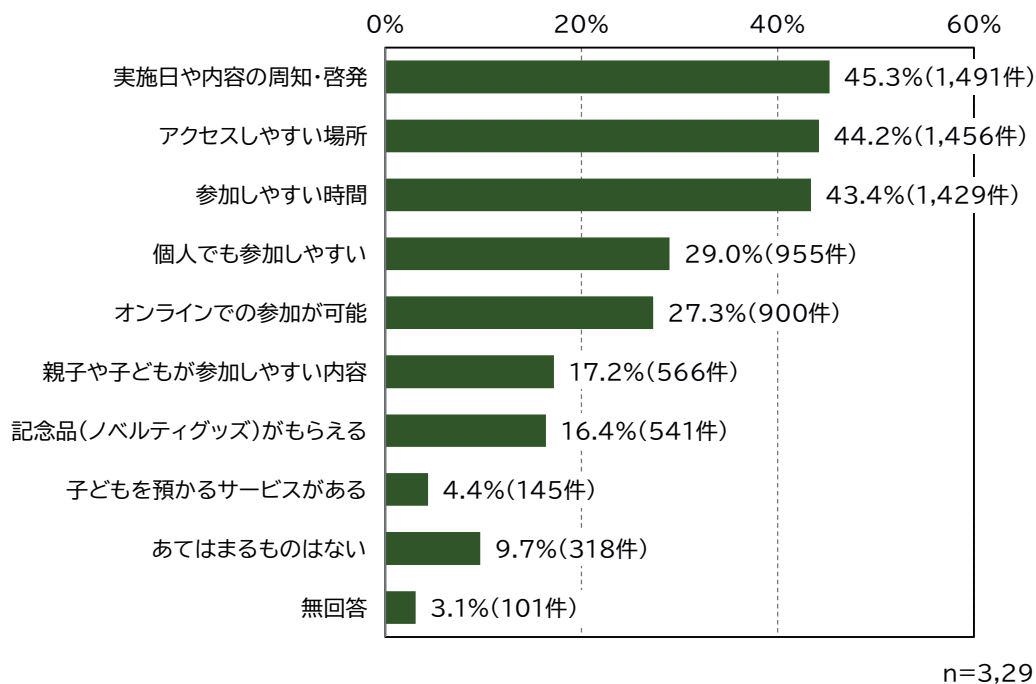
災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



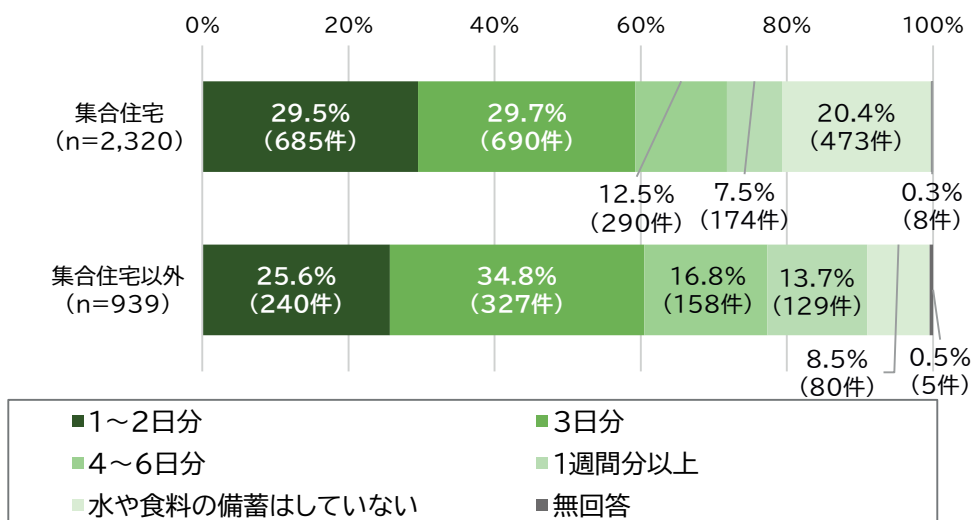
(7)区民アンケート(下馬地区)

クロス集計(1/4)

水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。

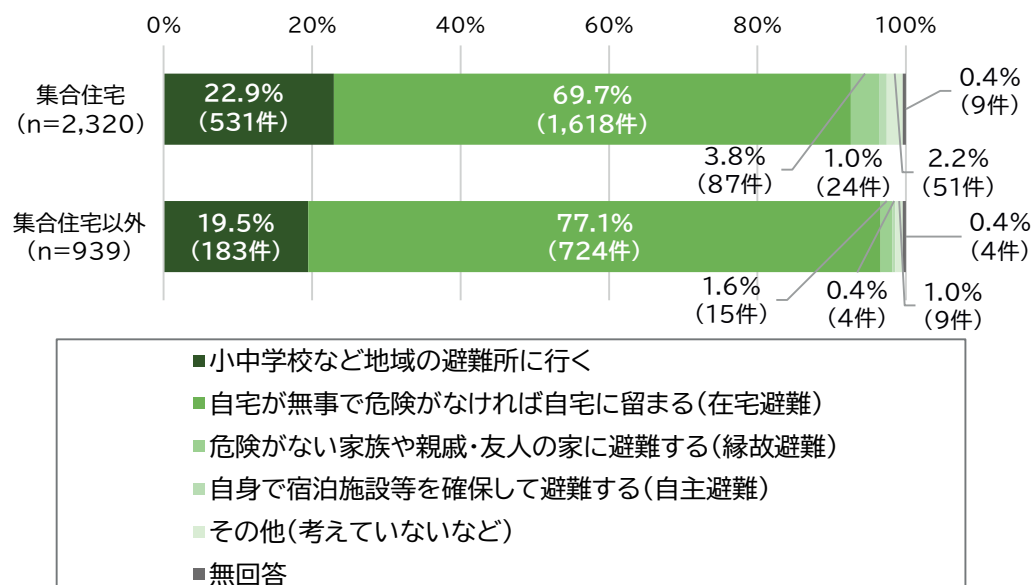
【居住形態別】水や食料の備蓄状況(単数回答)



震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

【居住形態別】震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



(7)区民アンケート(下馬地区)

クロス集計(2/4)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

【居住形態別】災害時の心配ごと(複数回答)



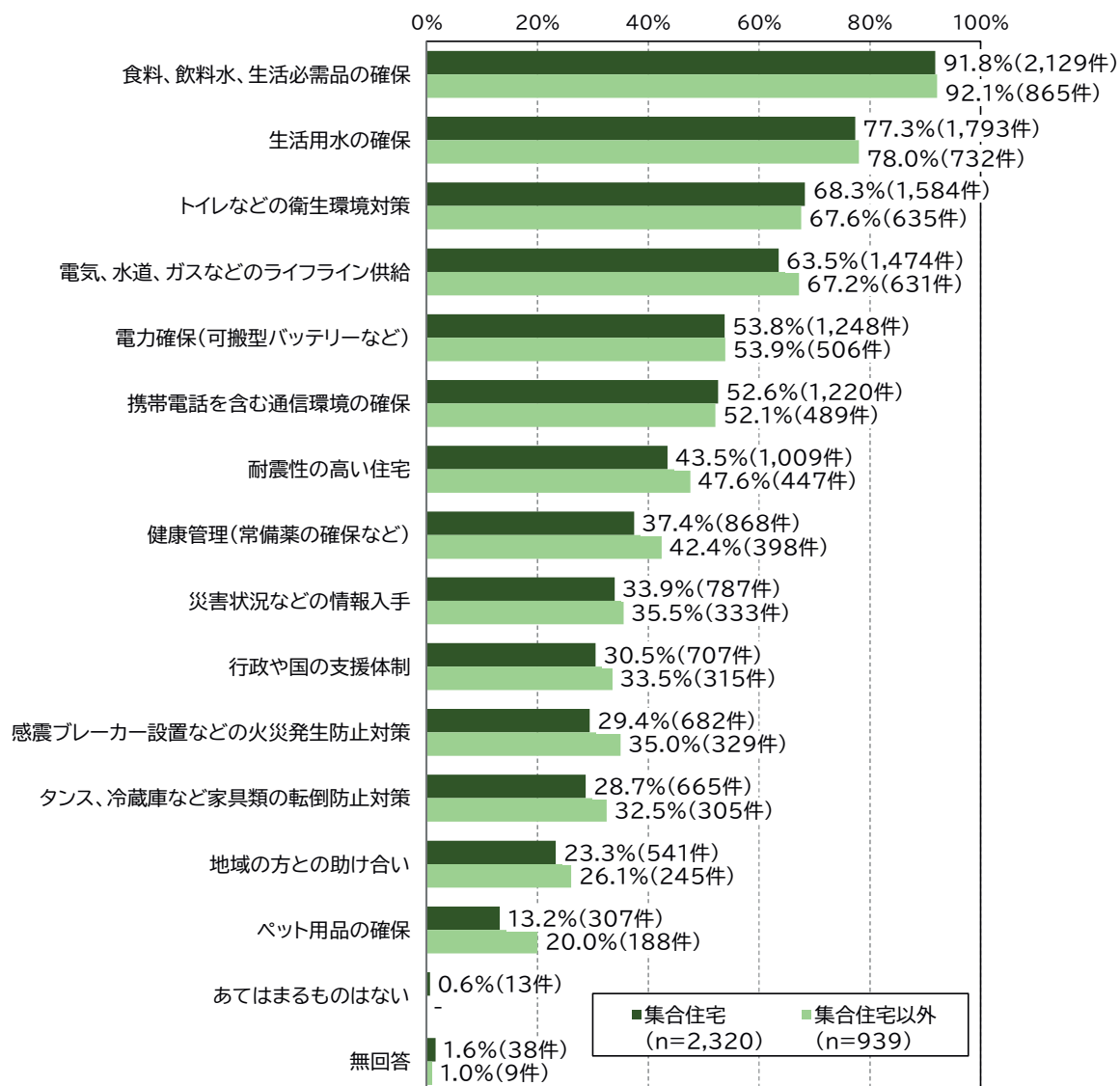
(7)区民アンケート(下馬地区)

クロス集計(3/4)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【居住形態別】在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



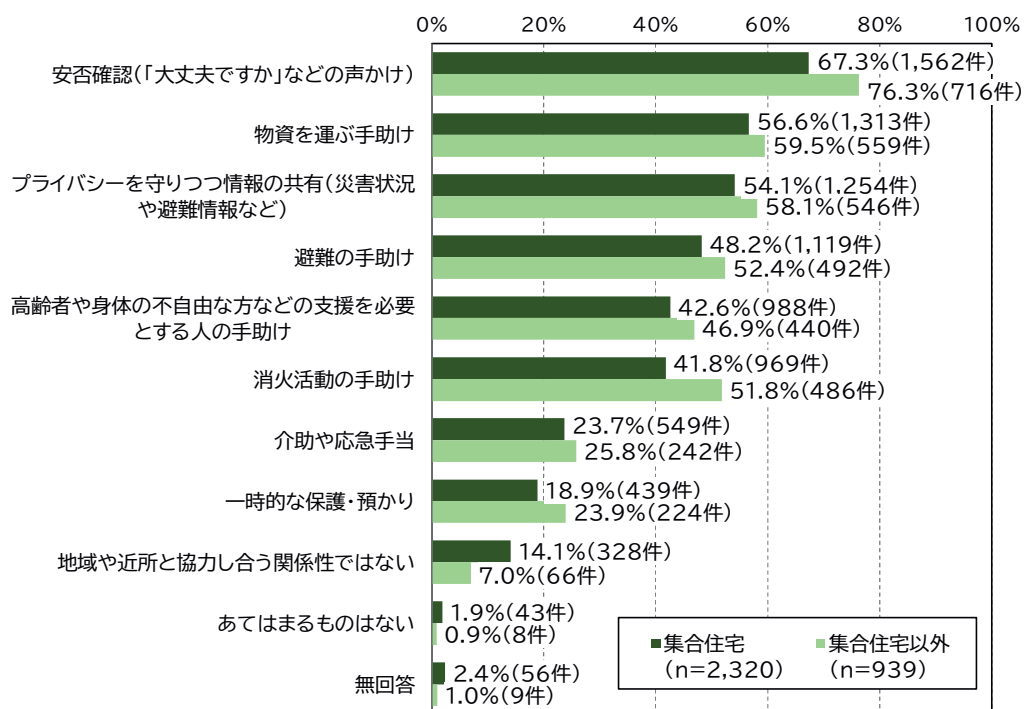
(7)区民アンケート(下馬地区)

クロス集計(4/4)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

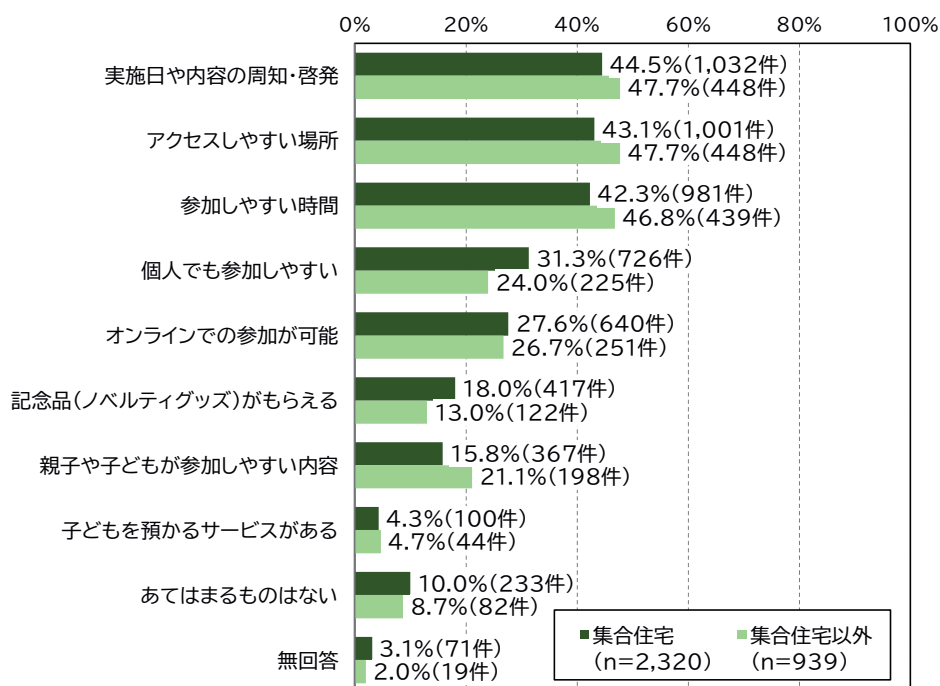
【居住形態別】災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

【居住形態別】防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



3 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備			
		実施している	実施していない	会議名	(実施回数) (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ	
										数量	場所
下馬1丁目町会	5	○		総務会(議題として) 理事会(議題として)	12 12	○		○		1	町会会館内
駒繫西自治会	5	○		避難所運営委員会 防災部会議 防災部会議メール相談	3 1 多数	○		○		4	和田宅、坂野宅 中山、中村宅
下馬2丁目北町会	15	○		避難所運営会議 役員防災会議 防災学習セミナー	2 8 2	○		○		3	第1集会所格納庫 第3集会所格納庫 7号棟保管庫
下馬新生自治会	7	○		・避難所運営訓練 ・防災訓練 ・防災塾 ・役員会(毎月第1月曜日)	1・2 1・10	○		○		2	下馬3-25-10 下馬3-2-1
下馬5丁目町会	47	○		避難所運営準備会議 防災訓練準備会議 町会理事会(議題として) ATN(安心助け合いネットワーク) 全体会議	3 3 10 1	○		○		1	下馬5丁目会館
下馬6丁目町会	5	○		防災会議 避難所運営訓練	2	○		○		1	下馬公園内倉庫
野沢1丁目明朗会	8	○		避難所運営訓練予備会議 町会幹部会及び役員会(議題として)	2 各6	○		○		7	町会内指定場所
野沢2丁目町会	4	○		役員会 理事会	20	○		○		6	町会内6ヶ所
野沢3丁目町会	15	○		避難所運営委員会 役員会	2 11	○		○		4	龍雲寺、町会事務所、テットー広場、柿の木坂パレス
野沢四丁目自治会	5	○		月例役員会 自治会防災訓練打合せ会議 避難所運営訓練関係会議	11 2 4	○		○		2	野沢児童遊園 野沢ふれあいの家
柿の木坂パレス	3	○		柿の木坂パレス消防組織	2	○		○		1	1階エントランス

団体名	消火資機材の配備						防災訓練等の実施			
	D型ポンプ		消火器		その他		実施している	実施していない	防災訓練	
	数量	場所	数量	場所	名称	場所			回数	実施場所
下馬1丁目町会	1	町会会館内	2	町会会館			○		1	東急バス営業所横
駒繫西自治会							○		1	西澄寺
下馬2丁目北町会	2	第1集会所格納庫 第3集会所格納庫	774	1・2・3・4・5・7・ 8・9号棟各部屋			○		6	こどものひろば公園
下馬新生自治会	1	子の神第14分団倉庫					○			
下馬5丁目町会			2	下馬5丁目会館			○		1	下馬5丁目会館通り
下馬6丁目町会			1	町会事務所内			○		2	下馬公園
野沢1丁目明朗会	2	明朗公園防災倉庫 (野沢1-29-27) 野沢児童館前倉庫					○		5～6	町会内 野沢明朗公園
野沢2丁目町会	1	野沢2丁目公園倉庫					○		1	野沢2丁目公園
野沢3丁目町会							○		1 1 1 1 1	龍雲寺 町会事務所 テットー広場 南原公園 野沢公園
野沢四丁目自治会	1	野沢児童遊園	5	自治会詰所倉庫			○		1	野沢四丁目自治会防災訓練
柿の木坂パレス							○		1	マンション内駐車場

団体名	防災訓練等の実施				防災マップ											
	救命救急講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							
	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他
下馬1丁目町会	2		防災・防犯の講演 避難所運営訓練	町会会館 駒繫小学校			○		○	○	○	○		○	○	
駒繫西自治会			避難所運営訓練	駒繫小学校		○			○	○	○	○	○	○	○	
下馬2丁目北町会	2	第1集会所	通報訓練 スタンドパイプ訓練 応急救護 避難所運営訓練	三宿中学校			○		○	○		○	○	○	○	安否確認 シート全戸 配布
下馬新生自治会			合同防災訓練 避難所運営訓練	駒留中学校				○	○	○	○	○			○	
下馬5丁目町会			合同防災訓練 避難所運営訓練	駒留中学校	○				○	○	○					
下馬6丁目町会	1	町会事務所	避難所運営訓練	中丸小学校	○				○	○	○	○	○	○	○	
野沢1丁目明朗会	1 (随時)	野沢地区会館	野沢2丁目公園防 災訓練(野沢2丁目 町会の訓練に参 加) 避難所運営訓練	野沢2丁目公 園 旭小学校	○				○	○	○	○	○	○	○	スタンドパイ プ、可搬ポン プ、災害時避 難通路
野沢2丁目町会			野沢2丁目公園防 災訓練 避難所運営訓練	野沢2丁目公 園 旭小学校	○				○		○	○	○		○	
野沢3丁目町会	1	龍雲寺会館	避難所運営訓練	中丸小学校				○								AED及びス タンドパイプ 配置図のみ作 成済
野沢四丁目自治会			避難所運営訓練	旭小学校	○				○	○	○	○	○	○	○	
柿の木坂パレス	1	マンション内会 議室						○								

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)				災害時連携・協定 (区を除く)	避難行動要 支援者協定		
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
下馬1丁目町会	1				○			・駒繫西自治会 (避難所運営訓練・防災訓練)			○	
駒繫西自治会	2			○	○			・下馬1丁目町会 (避難所運営訓練・防災訓練)				○
下馬2丁目北町会	1		1		○			・太子堂1丁目町会 (避難所運営訓練を共同開催) ・フレンズケアセンター (災害時協力応援体制) ・世田谷ボランティア協会 (災害時協力体制)		○		
下馬新生自治会	4		2		○			・下馬5丁目町会 (避難所運営訓練及び防災訓練 を共同開催)		○		
下馬5丁目町会	2		2		○			・下馬新生自治会 (避難所運営訓練及び防災訓練に おける準備、打合せ等)		○		
下馬6丁目町会	3		1		○			・野沢3丁目町会 (避難所運営訓練を共同開催)		○		
野沢1丁目明朗会	2		2		○	○		・野沢2丁目町会 ・野沢四丁目自治会 ・上馬東町会 (避難所運営訓練を共同開催)	災害時緊急避難通路 ①関係箇所(2箇所) ②災害時一時避難所、日大こども園			
野沢2丁目町会	1		1		○			・野沢1丁目明朗会 ・野沢四丁目自治会 ・上馬東町会 (避難所運営訓練を共同開催)		○		
野沢3丁目町会		○	1	○	○			・下馬6丁目町会 (避難所運営訓練を共同開催) ・龍雲寺 (いざという時協力)		○		
野沢四丁目自治会	1		1		○			・野沢1丁目明朗会 ・野沢2丁目町会 ・上馬東町会 (避難所運営訓練を共同開催)			○	
柿の木坂パレス		○		○			○					○

団体名	避難行動要支援者対策				連絡手段の確保				防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				
	見守り活動	要支援者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	作成・整備	連絡網の	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
下馬1丁目町会	○				5	○						○	
駒繫西自治会					○						○		
下馬2丁目北町会	○	○	各戸訪問		○	○		・防災協力員選出 (災害時、各棟・各館・各班に応援体制)		○			
下馬新生自治会				○		○		「いちのいち」に加入 役員がつながっている	○				地震の時はこうする
下馬5丁目町会	○		年2回以上のお声かけ			○		・ATN(安心助け合いネットワーク)専用回覧伝言システム (総括班長5名・各番地班長43名からなる回覧板伝言システム) ・町会理事連絡網 (町会理事24名を3系列に分けた伝言連絡システム)	○				安心助け合いネットワーク(ATN)
下馬6丁目町会	○					○							
野沢1丁目明朗会			町会要領を作成済					役員、各種委員、協力者名簿あり(電話)				○	
野沢2丁目町会			対象者訪問			○					○		
野沢3丁目町会	○		在宅避難を推奨	○		○		町会役員は主にLINEで連絡				○	
野沢四丁目自治会						○		・支部長連絡網 (地域を36の支部に分け、各支部に支部長を配置した連絡網を設けている)				○	
柿の木坂パレス	○										○		

団体名	救出救助に係る資機材の配備																	救出救助に係る資機材の配備	
	配備していない	配備している	リアカー	はし	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	パール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所	
下馬1丁目町会		○	1	1	2	1	2	30	2	2	3	2	2	1	1	2		町会会館 委員保管 小学校内町会倉庫	
駒繫西自治会		○	3				5	50			9						折りたたみテーブル(10台)	駒繫公園内防災倉庫	
下馬2丁目北町会		○	2	2	20	8	5	500		5	20		5	2	2		救助用ロープ(2本) デジタル無線機(18台)	第1・第3集会所格納庫 第1集会所 各防災倉庫・各戸保管	
下馬新生自治会		○	1		1	3	2	20		1	3	1		1				駒留中学校遊歩道防災倉庫 (下馬4-18)	
下馬5丁目町会		○				2		10			2						車いす2台	下馬5丁目会館倉庫 各町会理事宅	
下馬6丁目町会		○	1	1	1	2	2	10	1	1	5	2	2	1	1	1	電動チェーンソー	下馬公園内倉庫	
野沢1丁目明朗会		○	3			1		70	2	6	2						電動チェーンソー(1個) 車いす(2台)	野沢児童館前倉庫 野沢明朗公園 町会防災倉庫(野沢1-11-2)	
野沢2丁目町会		○	2		1	1	2	30			1	1	2	1	1	1	なた(1本) トラロープ(2本) 簡易テント(4基) 毛布(5枚)	野沢2丁目公園防災倉庫	
野沢3丁目町会		○	1			1	1		1		8		1				折りたたみ式車いす	龍雲寺駐車場内防災倉庫	
野沢四丁目自治会		○	2				2	100	1	1	1	1	1		1		台車(軽量型)2台 台車(金属製)2台	防災倉庫 (詰所、野沢ふれあいの家)	
柿の木坂パレス		○			○			5		○	○			○				1階倉庫 8階旧内階段	

団体名	食糧等の備蓄						食糧等の備蓄									
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	蓄電池セット	給水タンク	その他
下馬1丁目町会		○	250			150 (500ml)		300			400	5	1	2		組み立て式段ボール簡易トイレ(3個)
駒繫西自治会		○					50		5			3	1	2		簡易トイレ(100セット)
下馬2丁目北町会		○							5			3	2	3	20ℓ	飲料水は町会内に地下タンクあり 簡易トイレ(18セット) カセットボンベ(10本)
下馬新生自治会		○				50 (500ml)	445				15			2	60ℓ	カセットボンベ(1本) 簡易トイレ(20セット)
下馬5丁目町会		○					400				1			2		
下馬6丁目町会		○	500	360		456 (500ml)		660	2			1	1			氷砂糖(300個) カセットボンベ(30本) 簡易トイレ(600セット) 液体ミルク(120個)
野沢1丁目明朗会											3		2	1		トイレットペーパー(288ロール) 簡易トイレ(600枚)
野沢2丁目町会		○		96		40 (1.5ℓ) 90 (500ml)			2			3	2		200ℓ	鍋、釜、食器類 氷砂糖(100袋) ライスクッキー(48食) 簡易トイレ(500セット)
野沢3丁目町会		○	○			450 (2ℓ) 298 (1.5ℓ)			8		5	10		1	2	炊出し用大鍋(1)・ヤカン 浄水器
野沢四丁目自治会		○				1,000 (500ml)	100	100			500		2	1		簡易トイレ(400セット)
柿の木坂パレス		○	○	○	○	○		○	○	○	○			○		

団体名			その他の防災活動
	保管場所	備蓄品配布先	
下馬1丁目町会	町会会館1階	町会行事参加者	夜間パトロール(年3回) スタンドパイプ訓練 防災研修会(講演会)
駒繫西自治会	駒繫公園内 防災倉庫		・消火資機材の啓発・炊き出し訓練・防災研修会(講演会)・スタンドパイプ訓練 ・ハロウィンスタンプラリーにて、スタンドパイプのデモンストレーション ・防災教室・夜間パトロール・子ども防災デー
下馬2丁目北町会	防災倉庫		・歳末夜警 ・毎月2回防犯パトロール ・毎月2回防災訓練 ・防災学習会 ・防災こども花火大会 ・スタンドパイプ訓練
下馬新生自治会	下馬3-2-1 駒留中学校遊歩道防災 倉庫(下馬4-18)		・歳末に役員・消防団・市民消防隊とでパトロール ・地元消防団による夜警・スタンドパイプの訓練・防災訓練の回覧 ・年始町会内消防団員によるパトロール ・在宅避難時「無事です」タオル(黄色地タオルに赤字)を全戸配布
下馬5丁目町会	5丁目町会会館		・ATN(安心助け合いネットワーク)回覧板伝言システム・防災・防犯パトロール ・スタンドパイプ防水訓練・年末夜警・火災予防運動
下馬6丁目町会	町会事務所	町会事務所	スタンドパイプ訓練 年末パトロール 防災訓練 避難所運営訓練・防災訓練日の回覧板
野沢1丁目明朗会	町会防災倉庫		スタンドパイプ操作・放水訓練 D型ポンプ操作・放水訓練 歳末夜警
野沢2丁目町会	野沢2丁目公園 防災倉庫		スタントパイプ訓練 夜間パトロール 歳末警戒
野沢3丁目町会	町会事務所倉庫 (野沢3-23-13) 龍雲寺駐車場内防 災倉庫		・防災ウォーキングを実施(年1回) ・炊き出し訓練を実施(年1回、スタンドパイプと同時) ・他町会の防災訓練に参加 ・町会が開設したインスタグラムで防災訓練等の情報を把握
野沢四丁目自治会	野沢ふれあいの家 町会防災倉庫		・野沢四丁目自治会防災訓練 ・スタンドパイプ訓練 ・歳末防犯・防火パトロール
柿の木坂パレス	1階倉庫 屋上踊り場 8階旧内階段		

4 下馬地区における課題と今後の取り組み

◇地区防災力の向上

現状・課題・背景など

1 防災意識の向上

- ・災害時の被害を最小限に抑えるためには、住民一人ひとりによる「自助」や、地区住民による「共助」が重要であり、下馬地区の特性を踏まえて個々の災害に関する意識を高め、地区住民が一体となって防災力の向上に取り組む必要がある。

2 避難所運営と在宅避難の推進

- ・収容可能人数を超える避難者が指定避難所に詰めかけることが懸念されている。避難所の過密状況を避け、適切な避難所運営を可能にするため、在宅避難の推進に取り組む必要がある。
- ・町会・自治会役員の高齢化や担い手不足等により、適切な避難所運営を行うことができるか危惧されている。より多くの担い手や協力者を増やし、育成していく必要がある。

3 避難行動要支援者への支援

- ・災害時に自力での避難が困難な高齢者や障害者（避難行動要支援者）に対する避難支援体制を整える必要がある。

これまでの主な取り組みや成果

- ・地区住民の防災意識の向上を図るため、「下馬地区防災マップ」を作成し、下馬地区管内の約23,500世帯への全戸配布を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行を契機として、指定避難所の過密状況に対する懸念が一層深まったため、在宅避難をするための日頃からの備えを分かりやすく掲載したリーフレット「在宅避難のすすめ」を作成し配布を行った。
- ・適切な避難所運営をしていくためには、避難所運営委員だけでなく多くの協力者が必要である。また、過密状況を避けるためには、自宅が安全な人に対して在宅避難を促すことが重要である。災害時に指定避難所に避難してきた人に対して、この2点を呼びかける2種類の看板を作成し、避難所運営倉庫に配備した。
- ・下馬地区防災塾において、避難所運営や在宅避難をテーマとした講演会を開催し、在宅避難をするための事前準備や心構え、災害時の適切な避難所運営など、実例に基づく実践的な手法を学び、訓練等に活かしている。
- ・避難行動要支援者の発災直後の安否確認方法の一つとして、「無事です」等のサインボードや掲示物を事前に配布し、災害時に玄関等に掲げてもらうことで迅速に安否確認できる取り組みを進めている。
- ・避難行動要支援者に対しては、町会・自治会が独自に助け合い活動を実施したり、区と「避難行動要支援者支援に関する協定」を締結し、災害時に安否確認や支援を行う態勢を整備している。

今後の取り組み

災害時には、地区住民一人ひとりの自助の取り組みが重要であり、近隣の支え合いや助け合い活動が大きな効果を発揮する。「自分たちのまちは自分たちで守る」という機運を高め、「自助」「共助」の意識を一層促進し、「公助」と連携して地区防災力の向上に向けた取り組みを進めていく。

これまで取り組んできた活動を継続しながら、地区住民一人ひとりの防災意識を高め、災害時にお互いが支え合い、助け合える関係性を構築するため、地区コミュニティの醸成を図る取り組みを推進する。

1 防災意識の向上

- ・集合住宅の居住者や町会・自治会の未加入者など、普段から地区での繋がりが無い人に、地域のお祭りやイベント等の機会に防災訓練や町会行事への参加を呼びかけ、顔の見える関係を築いていく。
- ・より多くの人に防災に対する理解を深めてもらう取り組みを進めるため、誰もが気軽に楽しみながら参加できる防災訓練を実施する。
- ・自宅の耐震化や家具の転倒・落下・移動防止、感震ブレーカーの設置など自宅を安全にする取り組みを周知・啓発していく。
- ・下馬管内にある日本大学三軒茶屋キャンパスとの連携・協力体制を深めていく。

2 避難所運営と在宅避難の推進

- ・指定避難所は自宅に居住できなくなった人を一時的に保護する場所であるということを知り・啓発し、避難所へ行くことだけが避難ではないという認識を深めていく。
- ・指定避難所の過密状況や運営の困難さを地区住民に対して十分に認識してもらうとともに、在宅避難をはじめ、自主避難や縁故避難など多様な避難の方法があることを日頃から周知・啓発する。
- ・災害時に円滑な避難所の開設・運営を行うため、せたがや女性防災コーディネーターやおやじの会、PTAなど多様な人材にアプローチし避難所運営委員会への参加協力を求めていく。
- ・在宅避難の認知率向上のため、日頃から在宅避難のために必要な知識や発災時に取るべき行動を知り・啓発していく。
- ・指定避難所に避難してきた人にも避難所運営に協力してもらうため、避難所運営マニュアルや避難所の備蓄品等について理解を深めていく。

3 避難行動要支援者の支援

- ・区の「避難行動要支援者支援に関する協定」の取り組みや、町会・自治会独自の助け合い活動を継続する。
- ・災害時に速やかに安否確認や支援を行うことができるよう、日頃から民生委員・児童委員と情報共有を行っておく。
- ・在宅避難している避難行動要支援者に対しては、各指定避難所にせたがや災害ボランティアセンターが設置するサテライトと連携して支援を行う。